

■質問

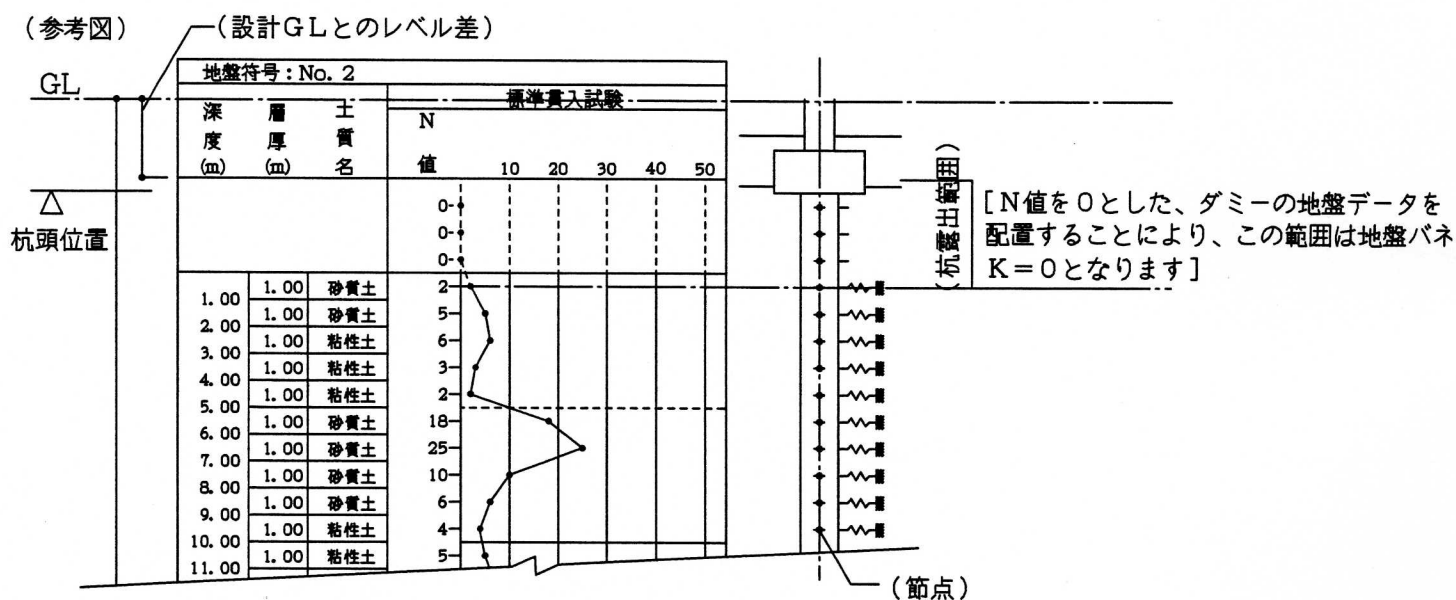
杭の上部が露出となる場合も、計算可能ですか。

■回答

杭の上部が露出になった場合の設定を次に示します。

- ① 杭露出範囲にN値を0とした、ダミーの地盤データを配置します。
- ② ①の設定により、杭露出範囲は地盤バネK=0となります。
- ③ ②の条件でモデル化され、応力解析をします。
- ④ 杭の露出深度に応じて、摩擦考慮開始深度を設定する必要がありますが生じる場合があります。

(下図参照)



(地盤データ番号を設定して配置)

地盤データ・杭境界条件

地盤データ 杭境界条件

JR: (計算条件番号) (ダミーのN値)

※粘性土でqu値が入力されていない場合、qu=12.5Nとして算出する。
 ※E0値が入力されていない場合、E0=700Nとして算出する。
 ※換算N値は先端avN値算定用に使用する。

層厚 (m)	深度 (m)	N値	換算N値	土質名	qu値	E0値 (kN/m2)	Kh低減係数
1.0	1.0	0		砂質土			
1.0	2.0	0		砂質土			
1.0	3.0	0		砂質土			
1.0	4.0	2		砂質土			
1.0	5.0	5		砂質土			
1.0	6.0	7		粘性土			

設計GLとのレベル差 (mm) (設計GLとのレベル差を設定します)

設計水位深度 (mm)

地盤反力係数 kh 計算用 α 80 (共通) 砂質土 80、粘性土 60 (摩擦考慮開始深度を入力)

摩擦考慮開始深度 押込み検討時 (mm)
 引抜き検討時 (mm)